



Target 4 安全・安心を守る

●あらゆる情報の迅速な収集・伝達の強化

「白石市地域防災計画」に基づき、さらなる防災体制の充実を図り、運用が開始された「北海道・三陸沖後発地震注意情報」など、あらゆる情報の迅速な収集・伝達の強化に取り組みます。

●地域防災拠点の整備

「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」周辺に整備する「道の駅」と「スポーツレクリエーション拠点施設」に地域の防災拠点機能を持たせ、地域の安全・安心を高めます。

●地域における防災力の強化

市民一人一人が「自らの命は自らで守る」という意識を持ち、「自助」である災害への備え、「共助」である地域住民同士での助け合いが被害軽減には不可欠であることから、自主防災組織への支援を継続します。



Target 5 活力・賑わいを創る^{にぎ}

●農林業の振興

「農林業従事者の高齢化が進み、労働力不足が予想されることから、共同利用機械の導入、飼料用米への作付け転換を支援し、「耕畜連携」を推進します。

●「仙台南部工業団地」企業募集開始

(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺に整備する「仙台南部工業団地」への新たな企業誘致を推進するため、トップセールスなどを通じて本市への企業立地や投資の優位性などをPRしていきます。

●結婚新生活支援事業補助金

住宅の取得・賃貸借などに係る費用を助成することで、若い世代の婚姻に伴う新生活を支援します。



Target 6 まちの未来を描く

●公共交通網の確保

本年度から5カ年を計画期間とする「白石市地域公共交通計画」に基づき、将来にわたって安心して暮らし続けることができる公共交通の確保に努めます。

●効率的な上下水道事業の運営

「白石市水道ビジョン」の基本方針に基づき、持続可能な水道事業の安定経営。安全で強靱な下水道を構築するため「内水ハザードマップ」などの雨水対策策定に向けた調査を実施します。

●魅力ある都市空間の整備

市中心部の交通ネットワーク機能の強化と通学路の安全確保を図るため、都市計画道路「中河原白石沖線」の本年度中の完成。益岡公園テニスコート関連施設の改修工事を行い、施設の長寿命化と一時避難所としての機能強化を図ります。



新しい教育活動を展開

令和5年度は、こども家庭庁が設置されるなど、国の政策も変化を迎える年となりますが、本市も新たな施策が動き出す年になります。

本年度は、教育機会確保法施行後全国初となる小中一貫の不登校特例校「白石きぼう学園」を開校します。「白石みらい教育基金」を最大限活用し、家庭・地域・企業・行政などが一体となって学校を支える体制を構築し、不登校に悩む児童生徒の多様性を認め、学びの機会を確保して社会的自立につなげるための新しい教育活動を展開します。

白石市立病院がスタート

これまで本市・蔵王町・七ヶ宿町の1市2町で構成する白石市外二町組合が運営してきた公立刈田総合病院が、白石市立病院として指定管理者制度を導入し、新たなスタートを切ります。

既に、本年1月中旬に医療法人仁誠会の今村豪理事長が医師として刈

好循環の創出へ

田病院に着任され、「救急を断らない」との方針の下で積極的に救急患者を受け入れており、病床稼働率改善と医療収入増加による病院事業収支の改善、そして、市民目線の地域医療のさらなる充実のための変化の兆しが現れています。指定管理者制度の導入によって持続可能な医療体制を構築するとともに、これからの地域の基幹病院として、地域の皆さんに安心を与えつづけることができる、地域に根差した病院づくりを進めてまいります。

「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」とその周辺施設の整備事業が、早期供用開始に向けて本格的に動き出します。

新たな企業誘致や既存企業の活動支援をはじめ、中心市街地の活性化や観光振興、地域医療の充実、災害時の安全確保など、さまざまな相乗効果が期待できる「地域活性化の起爆剤」であり、地域経済の発展、市民サービス向上の好循環創出につながるものと確信しています。

※施政方針の全文は市公式ホームページに掲載しています。